



「としょかんだより」は図書館より発行している広報誌です。
図書館からのお知らせやイベント情報等を掲載しています。
新入生の皆様、図書館を初めてご利用する方々も高野山大学
図書館をよろしく願います。

四月に想うこと

高野山大学 図書館長 前谷 彰（恵紹）

四月は卯月と言いますが、3月（弥生）で芽吹いてから、今度は新たな生命を開始することから、「初」（う）または「産」（う）の字が当てられ、一年の循環の最初を意味するというのが有力な説です。4月というと、入学式を想わせますが、新入生のみなさんは、「さあ、頑張ろう。何か新たなことを始めよう」と意気込んでいるかもしれませんが、3月から4月に野山の岸辺にひっそりと咲くスマレの花を思い起してみましよう。

夏目漱石は次のような興味深い句を詠んでいます。

菫（スマレ）ほどな 小さき人に 生まれたし

句意は、「うららかな春のひざしをあびながら、スマレが咲いている。こんなに目立たない小さな花だが、なんと美しいことか。もし、生まれ変われるなら、このスマレのような、小さい人間に生まれ変わりたいものだ」

普通なら、大きな人間に生まれたいと思うところだが、漱石はあえて小さな人間に生まれたいと願っているのです。いかにも、漱石らしい句で、繊細過ぎるほど繊細で純心な漱石の思いが痛いほど伝わって来ます。大きな人間ならば、一見すると格好よく見えるかもしれませんが、その大きさ故に、人を圧倒したり、怖がらせてしまうことがあります。でも、小さい人間ならば、人から少し軽んじられたり、甘く見られたりすることがあるかもしれません。

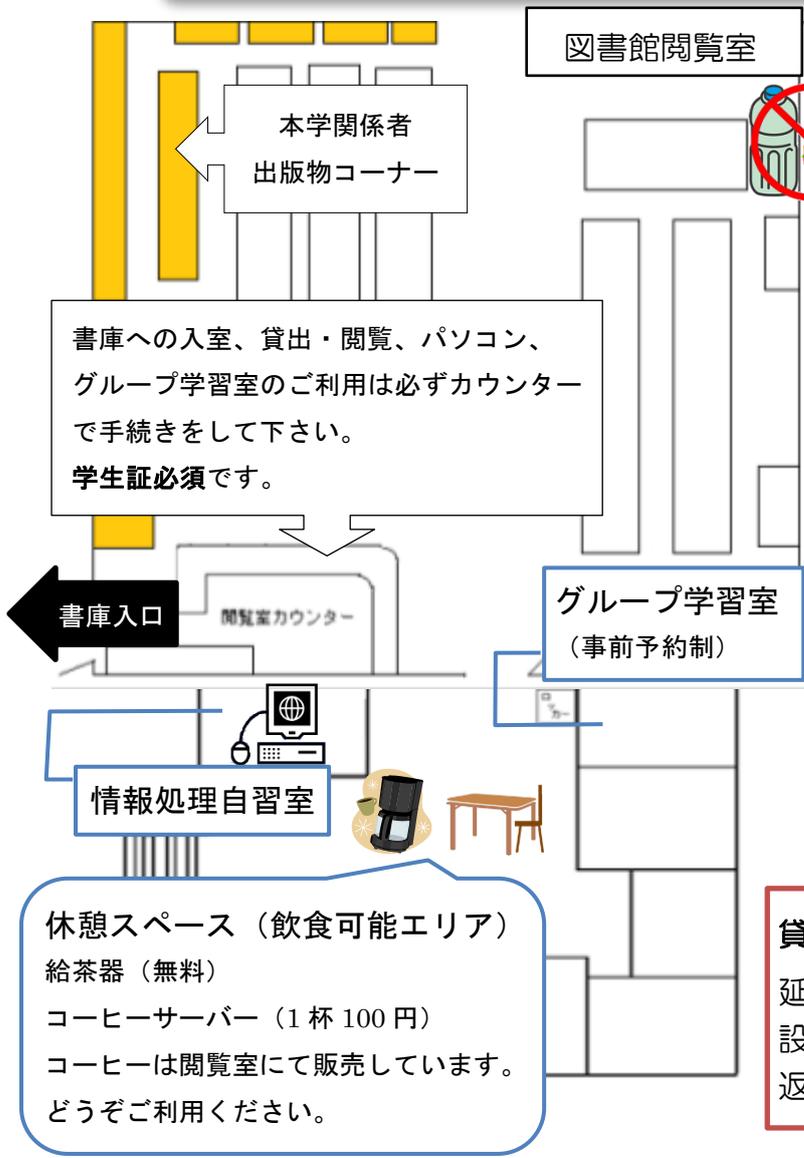
でも、漱石はそれでいいと思っているのです。北海道開拓の父とされたウィリアム・スミス・クラーク博士の”Boys, Be Ambitious”「少年よ、太志を抱け」ということばはあまりにも有名ですが、漱石ならば、「少年よ、小志でもよい。日々コツコツと志を実現するために頑張りなさい」と言ってくれたかもしれません。

新入生の心はピカピカ輝いているように思われがちですが、実は不安や虚しい気持ちでいっぱいではないのです。私は小学校5年生の時から「いじめ」に遭いましたが、そんな折、姉から太宰治の『人間失格』を読むようにすすめられ、何も分からないまま無我夢中で読みました。そして、それを読み終えた時、作者の太宰に自分自身を見出すことができ、その瞬間に何とも言えないすがすがしい気持ちになり、いじめられているというやりきれない気持ちが吹っ飛んでしまったことを憶えています。読書とは、そういうものです。多くを語ることはしませんが、図書館長として、これが新入生のみなさんに伝えたいことの一つです。



ご入学おめでとうございます

図書館のご利用は、図書館 2 階の閲覧室からご利用下さい。



図書館は土足厳禁
閲覧室内は飲食禁止
スマートフォン、携帯は
マナーモードを
ご利用ください。

※図書館の資料は閲覧室(黄色部分)の他に書庫内に所蔵しています。(黒矢印方向)書庫への入室は必ずカウンターで手続きをして下さい。

※書庫の中に入るときは貴重品以外の荷物は持ち込めません。荷物は閲覧室に置か閲覧室入口にロッカーがありますのでお使いください。(ロッカーは当日のみ使用可)

貸出図書は返却期限内に返却を！！
延滞者の方は貸出を停止するペナルティ制度を設けています。
返却できない場合、貸出延長をお願いします。

2018年 4月開館予定表

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2018年 5月開館予定表

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

発行所
〒648-0280
和歌山県 伊都郡高野町
高野山 385
高野山大学 図書館閲覧室
TEL : 0736-56-3835
FAX : 0736-56-5590
E-mail
service-lib@koyasan-u.ac.jp
twitter : @koyasanlib

	9:00-20:00		9:00-17:00	休館日		13:00-20:00
	13:00-19:00		9:00-19:00			